新潟米マンスリーレポート

（令和2年 12 月号）

≪今月の特集①≫

令和３年産米の県生産目標を設定しました

新型コロナウイルス感染症感染拡大による外食需要の減少などを踏まえ、

主食用米の生産目標は 52 万トン(令和２年実績▲75,400 トン)へと減産します

農林水産省は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」（11 月公表）で、令和３年産の主食用米等生産量を２年産よりも 30 万トン少ない 693 万トンと設定しています。

本県においても、民間在庫が積み上がっている中、需要減にしっかり対応する必要があることから、国の基本指針を踏まえ、主食用米の県生産目標を数量で 52 万トン、面積に換算して 95,500ha と設定しました。

また、非主食用米等の生産目標については、水田フル活用の観点から、過去の取組実績や近年の伸び等を踏まえて設定しています。

令和３年産については、拡大された国・県の支援策（次頁参照）を最大限活用し、非主食用米や大豆、高収益作物等の生産に積極的に取り組み、農業経営を守りましょう。

【令和３年産 主食用米生産目標】

県生産目標の考え方			生産目標	
			数量（トン）	面積（ha）
令和３年産全国適正生産量（693万トン）	×	県需要量シェア（過去５年平均：7.5%）	520,000（▲75,400）	95,500（▲11,200）

※カッコ内は令和２年度実績との差

【令和３年産 非主食用米等生産目標】

用途	R2	R3目標	拡大面積	用途	R2	R3目標	拡大面積
加工用米	5,056	9,000	3,944	大豆	3,754	5,000	1,246
米粉用米	1,695	2,500	805	麦	170	190	20
新市場開拓用米	1,134	2,500	1,366	高収益作物	5,500	6,000	500
飼料用米	1,876	5,000	3,124	そば等	799	800	1
WCS用稲	370	430	60	計	25,085	36,420	11,335
備蓄米	4,731	5,000	269				

≪今月の特集②≫

令和３年産の非主食用米への転換に対する支援が拡充されています

令和３年産の非主食用米等については、農業者が主食用米と遜色ない収入が確保できるよう、国や県による様々な支援策が拡充されています。

これらを活用し、非主食用米等の生産拡大による需給環境の改善に取り組みましょう！

（国の支援については、詳細が判明次第、次月号以降でお知らせします。）

支援策	支援概要	支援単価
新潟米等輸出力・国内供給力強化事業（県９月補正）	非主食用米等の拡大面積に対し支援	5,000 円/10a
新市場開拓に向けた水田リノベーション事業（国・R2　３次補正）	輸出・実需ニーズに応えるための輸出用米、加工用米、麦・大豆、高収益作物の低コスト生産技術等の導入支援	40,000 円/10a
麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト（国・R2　３次補正・R3 当初）	麦・大豆等水田農業の生産体制強化のため、団地化の推進や栽培技術の導入に対し支援	最大 15,000 円/10a
国による都道府県の拡大支援への追加的措置（国・R3 当初）	都道府県が転換拡大に取り組む生産者を支援する場合、国が同額を追加支援	最大 5,000 円/10a
産地交付金（県枠）	現行の加工用米・新市場開拓用米の複数年契約への支援に加え、インセンティブの不足する品目への支援を新設予定	支援内容や単価は１月中旬に決定します

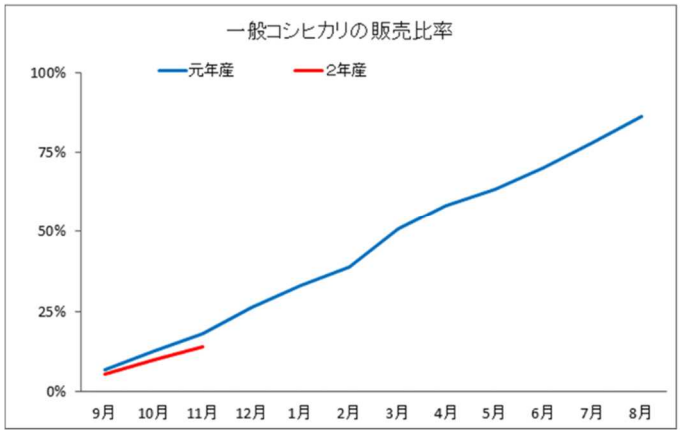
新潟米の販売状況

概況　令和2年 11 月末時点の2年産新潟米の販売比率は前年を下回っており、民間在庫は前年から 2. 3 万トン増加している。また、相対取引価格は前年同期に比べ、新潟一般コシヒカリが 60kg あたり 350 円下回り、魚沼コシヒカリが 922 円下回っている。

販売比率

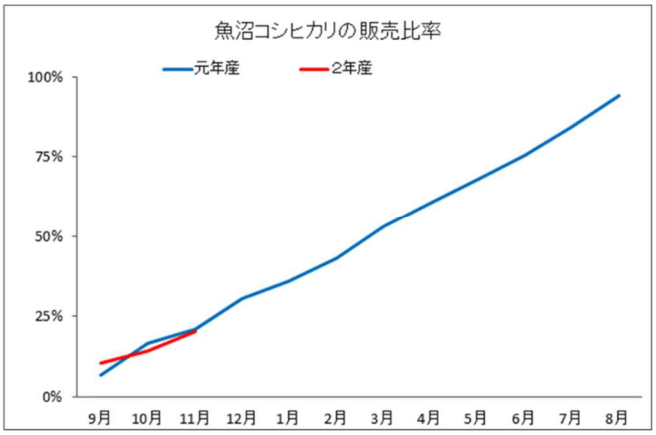
(1)一般コシヒカリ

11月時点の2年産一般コシヒカリの販売比率は、前年比4ポイント減の18%となっている。



(2)魚沼コシヒカリ

11月時点の2年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比1ポイント減の20%となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	8%	15%	22%	31%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	7%	13%	18%	26%	33%	39%	51%	58%	63%	70%	78%	86%
	2年産	5%	10%	14%									
魚沼コシヒカリ	30年産	11%	18%	25%	36%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	7%	16%	21%	30%	36%	43%	53%	60%	68%	76%	84%	94%
	2年産	10%	14%	20%									
岩船コシヒカリ	30年産	5%	15%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	5%	11%	16%	24%	29%	34%	43%	52%	57%	67%	80%	88%
	2年産	5%	11%	17%									
佐渡コシヒカリ	30年産	7%	23%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	7%	19%	22%	28%	35%	46%	58%	63%	70%	76%	85%	92%
	2年産	3%	14%	20%									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

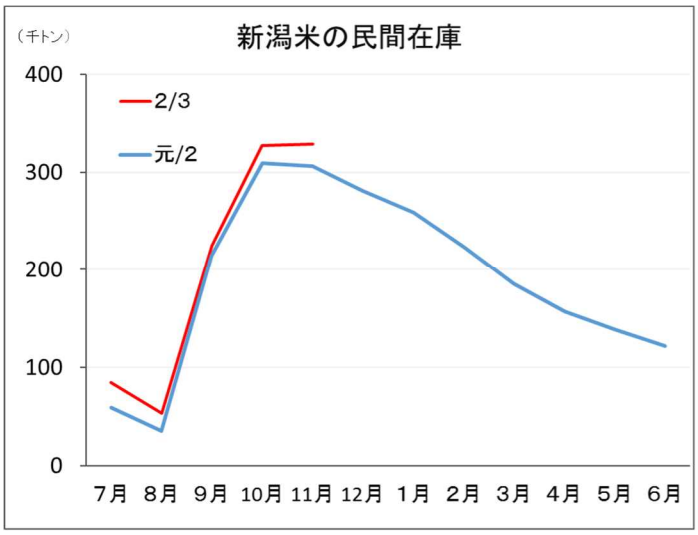
在庫状況

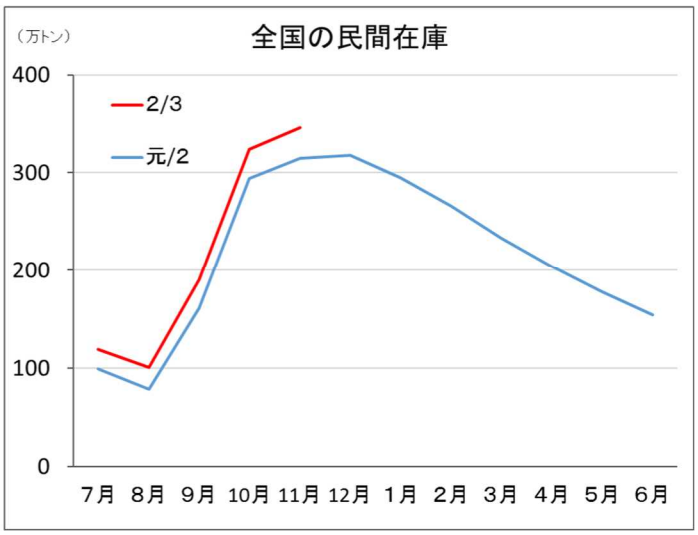
(1)新潟米

11月時点の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から23千トン増の329千トンとなり、前年を17か月連続で上回った。

(2)全国

11月時点の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から30万トン増の346万トンとなり、前年を15か月連続で上回った。





民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	元/2		59	35	214	309	306	281	259	224	186	157	139	122
		元年産米	0	1	194	293	294	273	253	219	183	155	137	120
		1年古米(30年産)	58	34	19	16	12	8	6	4	3	2	1	1
	2/3		85	54	225	327	329							
		2年産米	0	0	189	299	305							
		1年古米(元年産)	84	53	36	28	24							
全国	元/2		99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
		元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
		1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
	2/3		119	101	190	324	346							
		2年産米	0	12	123	267	297							
		1年古米(元年産)	112	84	61	51	41							

資料： 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

注：1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

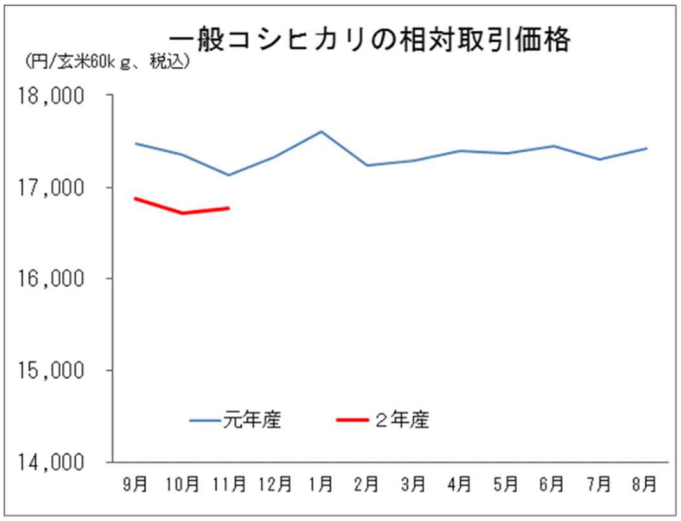
相対取引価格

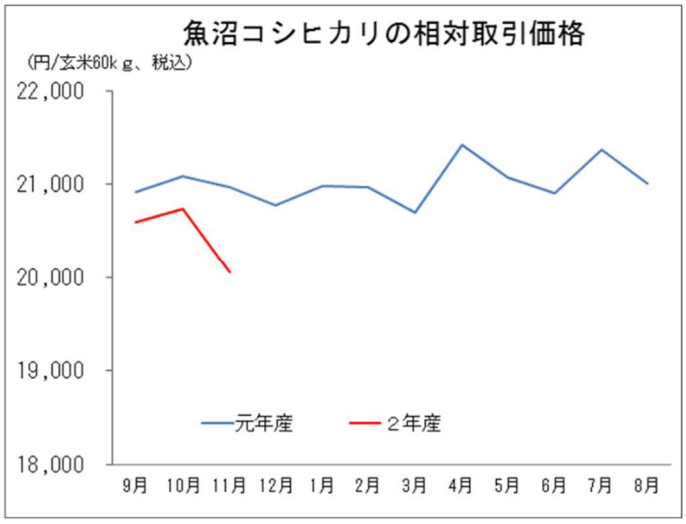
(1)一般コシヒカリ

11 月時点の一般コシヒカリの相対取引価格(１等)は、前年同月に比べ 350 円下回り、16,773 円(玄米 60kg、税込)となった。

(2)魚沼コシヒカリ

11 月時点の魚沼コシヒカリの相対取引価格(１等)は、前年同月に比べ 922 円下回り、20,049 円(玄米 60kg、税込)となった。





相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	17,294	17,396	17,366	17,453	17,303	17,414
	２年産	16,871	16,713	16,776									
魚沼コシヒカリ	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,462	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	20,694	21,416	21,078	20,908	21,370	21,008
	２年産	20,595	20,733	20,049									
岩船コシヒカリ	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	－	－	－	17,743	－
	元年産	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	18,079	－	－	17,913	－	－
	２年産	17,292	17,276	17,258									
佐渡コシヒカリ	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	－	17,510	－	18,337	－
	元年産	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	18,137	17,951	－	17,785	－	－
	２年産	17,264	17,273	17,533									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「－」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

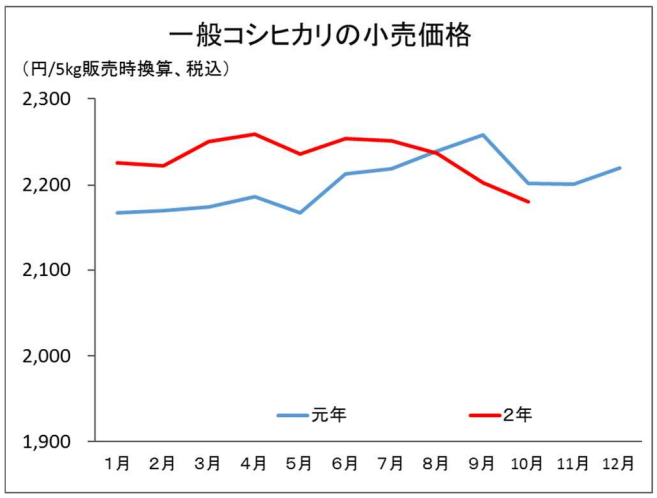
小売価格
(POS ﾃﾞｰﾀ)

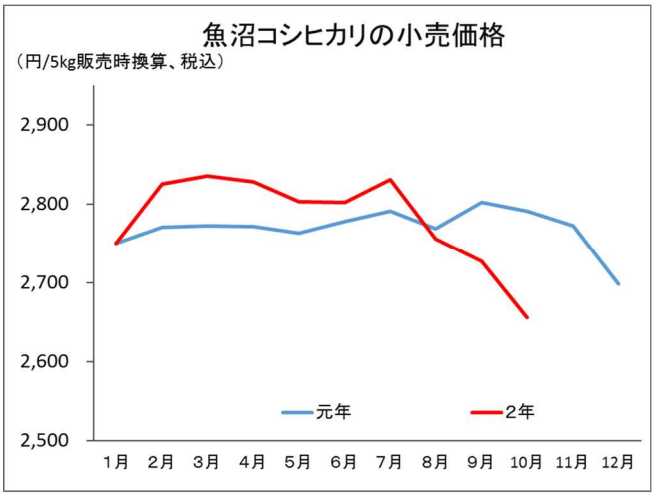
(1)一般コシヒカリ

10 月時点の一般コシヒカリの小売価格は、前年産を下回っており、前月比▲23 円の 2,180 円(5kg 袋販売時換算、税込)となった。

(2)魚沼コシヒカリ

10 月時点の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年産を下回っており、前月比▲71 円の 2,656 円(5kg 袋販売時換算、税込)となった。





小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220
	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180		
魚沼コシヒカリ	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698
	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656		
岩船コシヒカリ	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220	2,246	2,252
	2年	2,261	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
佐渡コシヒカリ	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300
	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262		

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「－」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記～今年もお世話になりました～

あっという間に年の瀬ですね。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、世の中がずいぶんと変わってしまいました。

さて、もうすぐお正月。お正月といえばお餅です。今ではスーパーで包装餅が販売されており、一年中おいしいお餅を楽しむことが出来ますが、やっぱりつきたてのお餅はおいしいですよね！

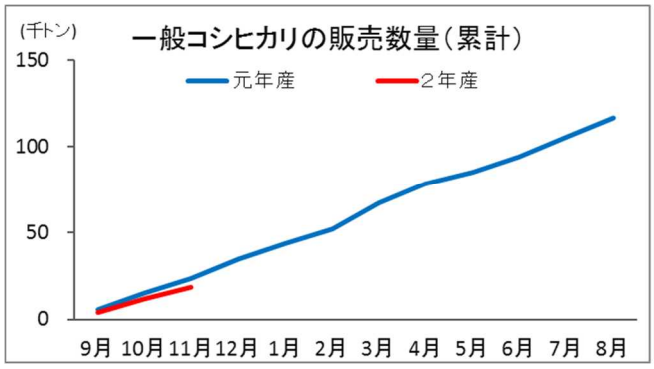
我が家では、毎年お正月にはお餅をつきます。1升臼に蒸したもち米5合をペッタンペッタン、杵でつきます。子供たちも毎年楽しみにしており、いつまでも続けたい我が家のイベントです。

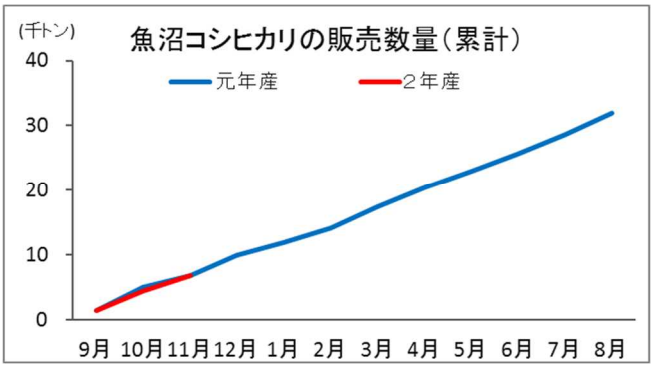
新しい年は、皆様にとって幸多き年でありますようお祈りいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。

発行元：新潟県農林水産部農産園芸課
ＴＥＬ：０２５－２８０－５２９５
ＵＲＬ：https://www.niigatamai.info

資　料　編

販売状況





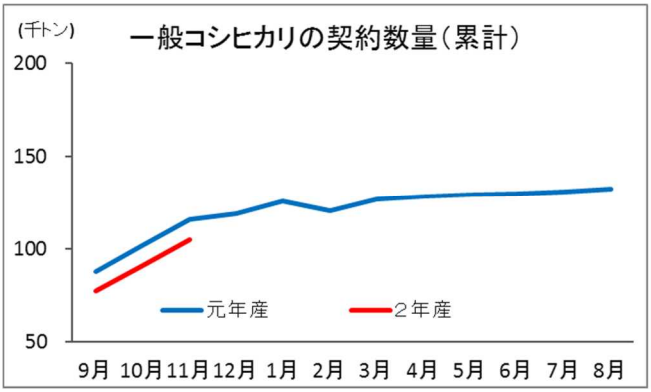
販売数量(累計)の推移

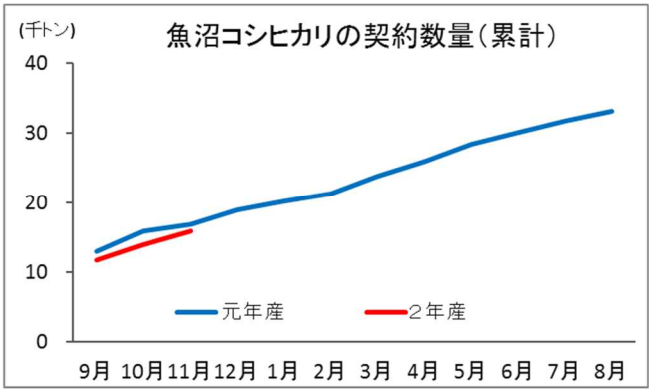
（玄米千トン）

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2	23.8	34.8	43.7	52	67.4	78.7	85.4	94.4	105.3	116.4
	2年産	4.2	12.1	18.7									
魚沼コシヒカリ	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0	6.9	10.0	11.9	14.1	17.5	20.5	23.0	25.6	28.6	31.9
	2年産	1.5	4.5	6.9									
岩船コシヒカリ	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4	2.0	3.0	3.6	4.3	5.4	6.6	7.3	8.6	10.2	11.4
	2年産	0.2	1.3	2.0									
佐渡コシヒカリ	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.6	8.3	9.2	10.1	11.0	12.3	13.4
	2年産	0.2	1.7	2.9									

（資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
（注）年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況





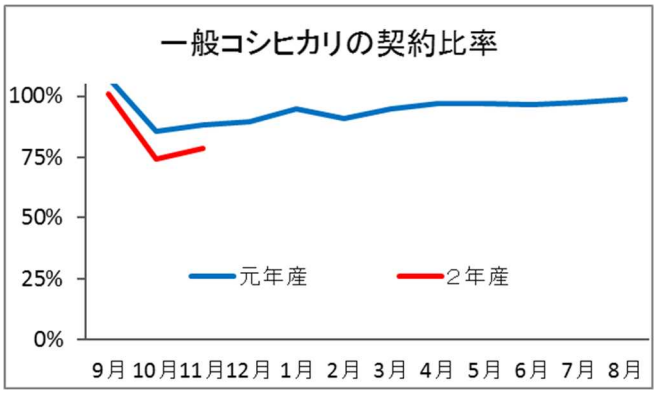
契約数量(累計)の推移

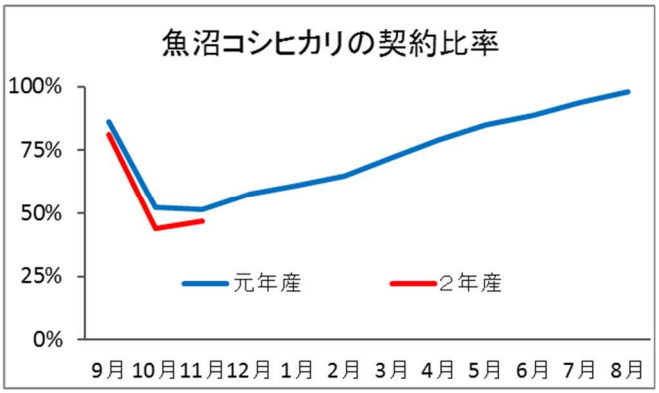
（玄米千トン）

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9	115.9	118.9	125.7	120.7	126.6	128.6	129.3	130.1	131.2	132.7
	2年産	77.5	90.8	105.1									
魚沼コシヒカリ	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9	16.9	19.0	20.2	21.3	23.8	25.9	28.4	30.1	31.8	33.2
	2年産	11.8	14.0	15.9									
岩船コシヒカリ	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5	9.5	9.5	10.4	11.3	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8
	2年産	8.7	9.0	10.7									
佐渡コシヒカリ	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1	11.3	11.6	12.3	13.4	14.2	14.4	14.2	14.2	14.2	14.5
	2年産	12.7	12.8	12.9									

（資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
（注）年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率





契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	128%	90%	88%	92%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	100%
	元年産	107%	86%	88%	90%	95%	91%	95%	97%	97%	97%	97%	99%
	2年産	101%	74%	79%									
魚沼コシヒカリ	30年産	125%	75%	77%	81%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	86%	52%	52%	58%	61%	65%	72%	79%	85%	89%	94%	98%
	2年産	81%	44%	47%									
岩船コシヒカリ	30年産	555%	109%	108%	108%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	254%	76%	75%	75%	83%	90%	100%	100%	100%	99%	99%	99%
	2年産	235%	77%	91%									
佐渡コシヒカリ	30年産	400%	119%	97%	98%	80%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	198%	93%	78%	81%	86%	93%	98%	100%	98%	98%	98%	100%
	2年産	212%	105%	91%									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。